

目次

1. プロジェクト概要	1
2. 業務の実施体制	5
3. 研究成果報告	
地域連携減災研究（防災分野）	
3. 1 東日本大震災教訓活用研究	12
3. 1. ① アーカイブシステムの構築・利活用	14
3. 1. ② 震源域情報	27
3. 1. ③ 復興	36
3. 1. ④ 地震動	41
3. 1. ⑤ 被害	43
3. 1. ⑥ 強震動と津波の特性、生成メカニズムに関する評価	56
3. 2 地震・津波被害予測研究	65
3. 2. ① 津波	68
3. 2. ② 地震動	86
3. 2. ③ 地盤被害	94
3. 2. ④ 建物	103
3. 2. ⑤ ライフライン	115
3. 2. ⑥ 広域リスク評価	126
3. 2. ⑦ 都市災害と経済被害	138
3. 3 防災・減災対策研究	148
3. 4 災害対応・復旧復興研究	160
3. 4. ① 災害による地域への影響を把握するための「地域特性評価システム」の 高度化	162
3. 4. ② 一般企業のBCP策定に資する共通被害シナリオの構築	165
3. 4. ③ 地域特性をふまえた事前復興のあり方の検討	166
3. 4. ④ 地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針の検討 (三重県の事例研究)	168
3. 5 防災・災害情報発信研究	173
3. 5. ① 南海トラフ広域地震災害情報プラットフォームの構築	175
3. 5. ② 情報システムと歴史データ等データ整備、 及び防災教育・啓発	201
3. 5. ③ 自動震源決定システムの設計とリアルタイム伝送	208
3. 5. ④ 住民の防災知識構造と社会構造に関する質的調査	215
巨大地震発生域調査観測研究（調査観測分野）	
3. 6 プレート・断層構造研究	226

3. 6. ①	海域におけるプレート・断層構造調査（南西諸島海溝地震発生帯モデルの構築、南海トラフの拡大想定震源域上限の構造マッピング、拡大想定震源域下限および海洋プレート構造・物性の決定）	228
3. 6. ②	自然地震・構造探査を用いた構造解析	238
3. 7	海陸津波履歴研究	255
3. 7. ①	海域での津波履歴調査	257
3. 7. ②	陸域での津波履歴調査によるサンプルデータ解析（四国沿岸）	265
3. 7. ③	陸域での津波履歴調査によるサンプルデータ解析（紀伊半島南部）	278
3. 7. ④	陸域での津波履歴調査によるサンプルデータ解析（駿河湾奥浮島ヶ原）	281
3. 7. ⑤	富士川河口域における 1854 年安政東海地震の隆起量と断層位置の推定	285
3. 8	広帯域地震活動研究	291
3. 8. ①	南海トラフにおける準リアルタイム海底上下変動観測によるスロースリップのモニタリング	293
3. 8. ②	南海トラフ西部の領域における広帯域自然地震観測	298
巨大地震発生域調査観測研究（シミュレーション分野）		
3. 9	データ活用予測研究	307
3. 9. ①	地殻変動データ整備および東北地方太平洋沖地震の余効変動解析	309
3. 9. ②	東北地方太平洋沖地震前後の地殻活動の特徴抽出	316
3. 9. ③	予測システムの検証・予測試行実験	323
3. 9. ④	余効すべり・過去のゆっくりすべり同化手法の開発	328
3. 10	震源モデル構築・シナリオ研究	338
3. 10. ①	日本列島粘弾性モデル構築とその応用	340
3. 10. ②	地震発生サイクル計算手法の高度化	344
3. 10. ③	南海トラフ地震発生サイクルの再現・モデル検証	352
3. 10. ④	地震発生シナリオ評価	358
3. 10. ⑤	巨大地震の震源モデル及び地殻・地盤モデル開発	361
3. 10. ⑥	シミュレーションに基づく南海トラフ地震津波の検証・評価	369
3. 10. ⑦	実用的な津波土砂移動シミュレーション手法の開発	384
4.	全体成果概要	397
5.	成果の論文発表・口頭発表等	402
6.	むすび	421
7.	運営委員会	
7. 1	活動報告	422

7. 2 運営委員会構成員 422